

社会福祉協議会が取り組む福祉教育

社会福祉協議会が取り組む福祉教育には、「心の豊かな成長」と「地域の福祉をすすめる」という2つの目的があります。

生徒や学生には『ふくし出前講座』として、疑似体験や福祉講話、障がいのある人との交流会などを行います。また、地域の方々には、障がいのある人や高齢者への理解を深めるために、社協と共に様々な地域課題に目を向けてもらい福祉について考えるきっかけの場づくりをおこないます。

福祉教育は体験型の学習を大切にします。体験学習（出会いとコミュニケーション）を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断できる力を育てていきます。

ふくし出前講座（メニューの例）

☆車イス体験

車イスに乗っている人が、どのような不便さや不安を感じられているかを具体的に体験し、車イスを利用している人に対する適切なサポートを学びます。



☆手話体験

挨拶や自己紹介などの簡単な手話体験し、手話の役割や成り立ちを学び、講師である聴覚に障がいのある方と交流を通して、手話の表現方法を習得します。



☆ブラインドウォーク体験

2人1組で、ガイドする側とガイドされる側（アイマスク着用）を交互に体験し、視覚に障がいのある人との交流を通して、適切なサポートを学びます。



☆点字体験

点字の仕組みや歴史を学び、小型点字器を使って実際に点字を書く体験をします。



☆高齢者疑似体験

体験装具（ゴーグル・重り・サポーター）を装着して、日常生活の動作を疑似体験することにより、加齢による身体の変化を知り、気持ちやサポート方法を学び、高齢の方とのコミュニケーションの取り方を体験的に学びます。



☆福祉講話

- ・福祉について（ボランティアって？福祉とは？など）職員から福祉学習の導入としての全体的な講話
- ・障がいについて（身体・視覚・聴覚・精神・発達など）障がいのある方や支援団体からの講話
- ・高齢の方に関わる福祉について（認知症・施設など）職員から高齢についての講話、認知症サポーター講座
- ・ユニバーサルデザインについて 支援団体から住みやすいまちづくりの講話

◇高齢者疑似体験や手話・点字体験などは技術習得が目的ではありません。当事者のサポートのあり方を考えたり、コミュニケーションを実際に図ったり、人間関係の構築を学ぶことが重要です。その上で、それぞれの違いを認め、お互いを理解・尊重する気持ちを育て、差別のない社会に向けての人権教育等にもつながっていくことを期待しています。

夏休みを活用した学生のための福祉体験事業 ~倶楽部ふくし事業~

☆ SUMMER 倶楽部ふくし
中・高・大学生を対象と
した福祉体験講座



☆ ふれあいワークキャンプ
小・中学生を対象とした
一泊二日の福祉体験講座



ボランティアセンターをご利用ください！

ボランティアしたいけど
どうしたらいいのかな？



どんなボランティア
活動があるのかな？

ボランティアセンターではこんなことをしています

☆ 情報の提供

ボランティアセンターでは、様々なボランティア情報を皆さんに提供しています。興味のある活動や関心のある活動など一緒に探してみませんか？きっと新たな一歩がスタートできるはずです。

☆ コーディネート&サポート

どんなボランティアがいかかわからない時、ボランティア活動はしているけれど困りごとがあるなど、なんでもコーディネーターに相談してください。興味やライフスタイルにあった活動を一緒に考えましょう。

☆ 講座・講習会

災害ボランティア講座や学生向け体験型講座、手話や傾聴ボランティア講座などいろいろなボランティアに関する講座・講習会を定期的に開催しています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています！

☆ ボランティア活動保険の手続き

ボランティア活動中の不慮の事故に備えてボランティア活動保険に加入すると安心です。「傷害保険」「賠償責任保険」の2つの補償をセットにした保険です。ご相談をお待ちしております。

ボランティア Room ほのぼの

ボランティア活動中の方々や関心のある方が気軽に集まり、交流できるスペースを用意しています。



また、ボランティア募集、団体紹介などボランティア・福祉情報も用意しています。

